

## 観 光

本村は、雄大な赤城高原に広がる農地や豊かな自然、そこから望む上毛の山々など、四季折々の景観に恵まれています。こうした自然環境を生かし、りんご、いちご、さくらんぼ、ブルーベリーなどの収穫体験ができる観光農園をはじめ、「昭和の森ゴルフ場」、赤城高原の別荘地、横浜市少年自然の家「赤城林間学園」、日帰り温泉施設「昭和の湯」など、多様な観光・交流施設があるほか、総合運動公園や千年の森スポーツセンター（サッカー場）では、スポーツを通じた交流や健康増進の場として、多くの方に利用されています。

本村の観光拠点である「道の駅あぐりーむ昭和」では、新鮮な農産物を取りそろえた農産物直売所「旬菜館」をはじめ、村内の食材を使用したレストラン、物産館、足湯、観光案内所、トイレなどを備えており、連日、多くの人でにぎわっています。道の駅あぐりーむ昭和では、収穫期に合わせて「とうもろこしまつり」が開催され、とうもろこしの収穫体験や焼きとうもろこしが、家族連れをはじめとする観光客から好評を博しています。

また、望郷ライン等の幹線道路沿いや「結婚の森」地内の4か所に、誰もが利用しやすい安全で快適な観光トイレを整備するとともに、観光案内看板を設置しています。平成26年度から、望郷ラインおよび大規模農道沿い、結婚の森の良好な景観を望む3か所にビューポイントを整備し、雄大なパノラマを楽しめる景観スポットとして活用されています。

平成28年度には「赤城山船ヶ鼻登山道」が整備され、初級者から中級者を対象とした「樽水」「牛石」の2コースが開通しました。令和4年度には、山頂に村民の幸福と登山者の安全を願う記念碑を建立しました。

村の祭り・イベントでは、「こんにゃくいも生産量日本一」でもある「やさしい王国」昭和村の収穫の秋を満喫できる「昭和の秋まつり」が開催され、村内外から多くの来場者に楽しんでいただきました。

また、冬の風物詩となっている「ウインターフェスティバル」は、花火をあげる会の有志により、「子どもたちに夢と思い出を」をスローガンに盛大に開催され、多くの来場者で賑わいました。

年明けの恒例行事である道の駅あぐりーむ昭和の「どんどん焼き」では、だるまなどを飾った櫓が豪快に燃え上がる様子が圧巻で、無病息災を願う多くの方々が訪れました。

令和7年度の主要観光・交流施設の利用状況は、道の駅あぐりーむ昭和で約674,500人、昭和の森ゴルフ場で約6,900人、赤城林間学園で約14,300人、昭和の湯で約82,300人、総合運動公園で約25,700人、千年の森で約21,000人となっており、合計で約824,700人となっています。